

高齢化社会が進むなか注目を集めているのが「アンチエイジング」である。直訳すると「抗加齢」だが、健康寿命に対する意識の高まりや予防医学の見地から最近では「若さや健康を保つ」といった広い概念で理解されている。

その主たる治療を行う診療科は美容外科だ。そこで美容外科の専門医の意見を交え、加齢が気になるあなたのために「アンチエイジング」の活用法を紹介する。

乳房の垂れから目のたるみまで

アンチエイジングは、加齢によって自然に起こるシミやシワ、骨や筋肉の衰えなど、その原因を抑制することで老化の進行を遅らせることをいう。

特に女性にとつて「若さを保つ」ことは重要な関心事であることは言うまでもない。

若さを保つと言っても、顔のシワやクマ、ほうれい線から、頭の薄毛、乳房の垂れ、ポデューラインのゆがみに至るまで、人によってその悩みは様々だ。男性では生殖器の包茎手術などもアンチエイジング治療のひとつになっている（図参照）。

その中で、高齢化で相談が多いのが「眼瞼下垂」だ。上まぶたが開けづらくなり、視野が狭くなるといった機能障害をもたらすこともある。

また肩こりや頭痛の原因にもなる。治療では、まぶたの皮膚のたるみが強くなるといっている場合に、垂れ下がった余分な皮膚と皮下組

賢い「アンチエイジング」活用法

織、眼輪筋、脂肪を切除する「眼瞼余剰皮膚切除術」を行う。

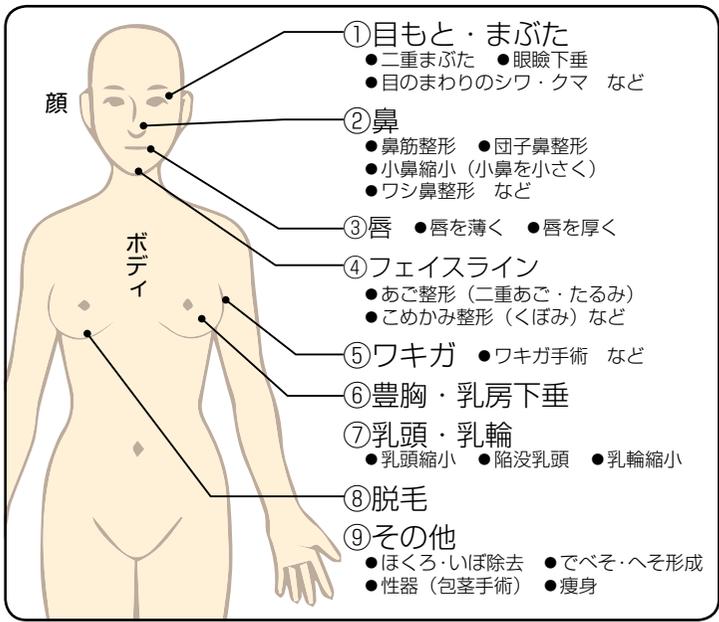
そのほか症状によって「拳筋前転術」、「拳筋短縮術」、「上眼瞼吊り上げ術」などがある。女性で多いのが「乳房下垂」。乳房が垂れ

てくるもので、乳輪の周りの余っている皮膚をドーナツ型に切開し縫い縮めることでバストを吊り上げ、乳首の位置を上に移動させる「乳房の吊り上げ」などの手術が行われる。顔のシワやほうれい

線についても相談が多い。これらの治療では、皮膚を切開して皮膚と筋肉を広く剥離し、吊

り上げる「フェイスリフト手術」が行われるが、ヒアルロン酸の注入などを行う医師もい

て、その具体的な治療内容については千差万別なのが実情だ。



アンチエイジングは家のリフォームと同じ

「精神的な若さを保つ」ことが最も大切

日本美容外科学会元会長 蘇春堂形成外科会長 **新富 芳尚氏**

アンチエイジングとは。

いまアンチエイジングが話題になっていますが、そもそもは容姿、代表的なのは顔ですが、顔をどれだけシワ取りをして若く見せるかという部分的なところから始まりました。

呼んでいます。

アンチエイジングは、家のリフォームに喩えるとわかりやすく説明できます。

建物が老朽化して見た目が古臭く感じたら、まず表面的な外壁などの外装の修繕を施し、見た目をリフォームし



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)